



第64期 通常総会開く

6月5日、大阪・天王寺区のシェラトン都ホテル大阪で

価格から価値的競争へ

加貫理事長を再選、6期目スタート

近畿印刷産業機材協同組合(加貫順三理事長)は6月5日、シェラトン都ホテル大阪において開催した「第64期通常総会」において新年度運営事項を決定するとともに、任期満了に伴う役員改選では、加貫理事長を再選。一部交代による新体制(後記)によって新年度をスタートさせた。

平成25年度同組合は、教育・情報事業をはじめ、福利厚生や広報事業、さらに大阪府や大阪府中小企業団体中央会の協力を得て「消費税転嫁対策セミナー」や「エコアクション21認証・登録制度説明会」を開催した他、上部団体の(一社)日本印刷産業機械工業会協力のもと、新たな税制措置として本年1月に施行された「生産性向上設備投資促進税制」の説明会を2回にわたって開催。組合員企業の設備投資意欲の喚起および営業力強化に供した。

平成26年度は、「依然として厳しさが残る環境」という認識のもと、個々の企業による対応力限界を組織力でカバーし、国や地方自治体の中小企業施策利用を含めて時局セミナーや説明会を開催する他、「経営強化支援事業」「教育・情報事業」「福利厚生事業」などを柱として諸事業を展開する。予算は3,100万円。

第4号議案の「役員改選」では、選考委員会より推薦を受けた12名全員を当選とし、加貫理事長を再選した他、後記の通り新体制が決定した。

再選を受けた加貫理事長は「近隣諸国と

の難しい外交問題を抱える日本の経済情勢下、消費増税に伴う駆け込み需要やその後の反動など、様々な状況を呈している。大手を中心に明るいニュースも報じられているが、中小企業としては依然として不透明感強い。価格から価値的競争へ転じ、製品価値を高めて顧客への貢献度をさらに高めて頂きたいと思う。組合員一丸となって業界発展に努力していきたい」と一層の協力と支援を要請した。

午後5時15分からは特別講演会(別掲)を開催。次いで「産業廃棄物処理」について提携先のアサヒブリテックより同社の取扱物並びに取引方法などについて説明が行われた

後、会場を隣室に移して懇親会も催された。

【役員】敬称略

- ▽理事長=加貫順三(加貫ローラ製作所)
- ▽副理事長=上野耕治(ウエノ)/弓倉清(共同精機)/坂本進(坂本造機)
- ▽理事=杉山紘司(丸楽紙業)/廣瀬安宏(広瀬鉄工)/藤嶋克則(富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ)/松井康雄(大阪印刷インキ製造)/森澤武士(モリサワ)/柳澤隆司(ベルバック)
- ▽監事=岩本将基(メディアテクノロジージャパン)/下垣充弘(下垣鉄工所)

